

事務事業評価シート（1/2）

829 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0277
 評価年度 令和 4年度
 所属 2301
 事務事業番号 00261

進捗区分 評価完了
 消防局消防総務課
 消防音楽隊事業

所属長名 吉村 紀男
 記入者 下村 圭彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	015	消防音楽隊事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市消防音楽隊規程				
事業概要	(事業概要) 消防音楽隊の活動を通して、広く市民に防火防災に関する広報活動と啓発活動を展開するとともに、大津市の防災まちづくりを推進する手法の一つとして、音楽隊演奏により安心、安全に暮らすことのできるまちづくりの推進や防火・防災意識の高揚を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 防火防災に対する市民意識が高まる中、幅広い年齢層への効果的な広報活動が求められている。令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に成果指標が減少したが、令和4年9月以降、イベント制限の緩和により演奏依頼が増加している。 (見直しや改善等の経過) 感染症予防のため派遣内容の精査を行い広報活動を展開した。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民に対し
目的(何のために)	広報活動による防火・防災意識の高揚のために、
手段(どのようなやり方で)	消防音楽隊の演奏活動を通じて、
成果(どのような状態にするのか)	安心、安全に暮らすことのできるまちづくりを推進するとともに湖都「大津」のイメージアップに貢献する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		4,463	4,272	4,361	4,361	4,361	4,361	4,361
事業費		383	294	383	383	383	383	383
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		383	294	383	383	383	383	383
人件費計		4,080	3,978	3,978	3,978	3,978	3,978	3,978
事務・技術(人)		0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

830 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0277
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2301 消防局消防総務課
 事務事業番号 00261 消防音楽隊事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-31-00-01-00	消防音楽隊事業費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 訓練回数	回	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		18.00	19.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 演奏回数	回	10.00	10.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		5.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 演奏実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		50.00	120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	防火防災意識の啓発と市民に身近な広報活動として効果的である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	国、市主催の行事にて演奏し多くの市民に対し防火広報を実施した		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	必要最小限の全体訓練で演奏を実施し費用対効果を高めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民への防火防災意識の高揚に有効な手段である。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和 4年 9月新型コロナウイルス感染症にかかるイベント開催制限の緩和を受けて演奏依頼が増加している。今後も市民の付託に応えられるよう、訓練のあり方及び派遣内容や演奏方法を検討しつつ音楽を通じた広報活動として事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	音楽隊による広報活動は、幅広い年代に火災予防を啓発するための有効な方法である。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを踏まえ、効率的かつ効果的な消防広報活動を推進していくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

832 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0278
 評価年度 令和 4年度
 所属 2301
 事務事業番号 00266

進捗区分 評価完了
 所属長名 吉村 紀男
 記入者 山本 勝巳

消防局消防総務課
 団員消防活動事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021	災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002	地域防災力の向上				
事務事業	006	団員消防活動事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律				
事業概要	(事業概要) 消防団員は、特別職の地方公務員として市民の生命・身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災または地震等の災害を防除し、これらの災害に因る被害を軽減することをその任務としており、これらの消防団員の報酬及び災害出勤等に伴う費用弁償並びに福利厚生事業を展開するとともに、消防団員の確保に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、災害は多種多様化し、いつ起こるかかわからない自然災害が頻発する中、平成25年12月、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、市民の消防団に寄せられる期待は大きい。 (見直しや改善等の経過) 退団者の被服等を有効活用するため、「予備被服エコバンク」制度を継続し、経費削減に努める。 令和4年度は新型コロナウイルス等感染症対策を講じながら、市民を対象とした訓練を実施したため、訓練回数が増加した。 令和4年4月1日施行で年額報酬額等を引き上げる条例改正を実施し、出勤報酬等を月払いに変更した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防団員に対し
目的(何のために)	市民生活の安心安全を確保するため
手段(どのようなやり方で)	消防団員の報酬と費用弁償及び消防団活動に必要な被服や消耗品等の支給と公務災害への身分保障により
成果(どのような状態にするのか)	円滑な消防団活動を展開するとともに、継続的な消防団員の確保に繋がる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	124,482	128,126	145,173	135,314	150,555	135,497	150,381
事業費	118,137	122,206	139,253	129,394	144,635	129,577	144,461
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	31,075	17,157	32,483	17,485	32,485	17,485	32,485
一般財源	87,062	105,049	106,770	111,909	112,150	112,092	111,976
人件費計	6,345	5,920	5,920	5,920	5,920	5,920	5,920
事務・技術(人)	0.58	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.55	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

833 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0278
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2301 消防局消防総務課
 事務事業番号 00266 団員消防活動事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-51-00-01-00	団員消防活動費	消防局消防総務課
01-45-05-10-51-00-05-00	団員報酬等費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 消防団員定数	人	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00
		1,236.00	1,215.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 訓練指導回数	回	26.00	26.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00
		26.00	59.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 充足率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		94.00	92.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 訓練指導率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	226.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	消防組織法で消防団員は市町村の規則で定めるよう明記され妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	団員数確保は全国同様に難しい状況だが、訓練指導は充実している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	消防団が住民指導を実施することで地域防災力の向上につながる		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民を災害から守る消防団員の強化は災害に強いまちづくりに貢献		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	昨年度実施している事業に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大禍により縮小していた消防団に関する事業について、消防団と調整し積極的に推進することで、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。 また、災害対応以外にも滋賀県総合防災訓練などの機会において、地域防災指導員として地域住民に必要な指導を行うことにより、地域防災力の向上に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	災害対応の原点は地域であることから、消防団は地域の中心となって総力を結集し、地域の状況に応じて的確に対応していかなければならない。このことから、消防団員の確保を進めるとともに、安全で迅速に消防団活動ができるよう環境等を整備し、消防団を中核とする地域防災力の一層の充実強化を推進すること。		

事務事業評価シート（1/2）

835 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0279
 評価年度 令和 4年度
 所属 2301
 事務事業番号 00268

進捗区分 評価完了
 所属長名 吉村 紀男
 記入者 山本 勝巳

消防局消防総務課
 団消防車両等整備事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心・快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心・安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021	災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002	地域防災力の向上				
事務事業	008	団消防車両等整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防力の整備指針					
事業概要	(事業概要) 消防団活動に必要な不可欠な資機材である消防団車両を整備することにより、災害防ぎょ活動の強化を図り、市民の生命・身体及び財産を保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらによる被害の軽減により、市民生活の安心・安全を確保する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、予想しがたい様々な自然災害等が相次ぎ発生する中、消防関係機関に寄せられる市民の期待は年々大きくなっている。 (見直しや改善等の経過) 消防団車両等については、計画の実現性や費用対効果を考慮し、時代に即した改善に取り組んできた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防団車両等（消防ポンプ車、小型動力ポンプ積載車、小型動力ポンプ）について
目的(何のために)	市民の安心・安全な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	更新と維持管理により
成果(どのような状態にするのか)	消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	49,961	37,087	5,698	101,460	55,768	47,616	55,768
事業費	45,961	33,187	1,798	97,560	51,868	43,716	51,868
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	41,953	29,483	0	90,700	47,500	33,700	47,500
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,008	3,704	1,798	6,860	4,368	10,016	4,368
人件費計	4,000	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0279
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2301 消防局消防総務課
 事務事業番号 00268 団消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-61-00-01-00	団消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
(活動) 消防ポンプ車又は小型ポンプ積載車の新規購入又は更新	台	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 小型動力ポンプの新規購入又は更新	台	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00	
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 消防分団数に対する消防ポンプ車等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 小型ポンプの実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	大規模災害に備え、各学区への分団車両配備は妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	消防団車両を中心とした活動により地域防災力は向上している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	車両再編計画を策定し、計画に基づき効率的に更新している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	防災力の要である消防団車両等更新は災害に強いまちづくりに直結		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	消防団車両等の更新整備については、地域防災力の充実強化に欠かせない事業であることから、「大津市消防団車両等再編計画」に基づき、消防団と調整を図り、現在配備している車両等の老朽化の状況等も鑑み、適正に更新整備していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	近年、災害発生が増加に伴い、消防団の現場活動の必要性は年々高まっている中、消防団車両の更新整備については、地域防災力の充実強化に欠かせない事業である。引き続き、消防団と連携を図りながら、「大津市消防団車両等再編計画」に基づき更新整備すること。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0280
 評価年度 令和 4年度
 所属 2301
 事務事業番号 02526

進捗区分 評価完了
 消防局消防総務課
 防火衣更新事業

所属長名 吉村 紀男
 記入者 佐山 真也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	014	防火衣更新事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市消防吏員の服制に関する規則					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>平成26年から貸与されている現在の防火服は、耐用年数が経過しており経年劣化及び損傷が多くみられる。また、総務省消防庁において、防火装備の性能基準を示したガイドラインが策定されており、令和4年4月に更新されたことから、近年の多様化・大規模化する災害から活動隊員の安全を確保するために防火服及び活動服を更新し、消防活動体制の強化を図るもの。</p>				
------	---	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>近年、建物の高気密化・高断熱化により、火災現場における消防吏員の活動危険が高まっている。建物構造と火災性状の変化に伴い、総務省消防庁においても個人防火装備の性能基準を示したガイドラインが更新された。(見直しや改善等の経過)</p> <p>現在の防火服は、平成26年度から平成27年度にかけて更新整備された。 「大津市消防吏員の被服等の貸与に関する規定」に基づき、令和5年度から更新を進めていくが、全職員分を3か年で更新する計画を見直し、まずは現場対応職員から優先更新する計画とした。</p>				
----------------------	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	総務省消防庁が示した個人防火装備のガイドラインに準じた防火服及び活動服を				
目的(何のために)	あらゆる災害において活動する隊員の安全確保を図るため、				
手段(どのようなやり方で)	現場活動を行う可能性のある全職員分を、複数年度で計画的に更新することにより、				
成果(どのような状態にするのか)	近年の災害状況に対応した活動が実施でき、消防活動体制の強化となる。				

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	80	10,774	38,002	40,206	36,336	12,953	12,953
事業費	0	3,754	30,982	33,186	29,316	5,933	5,933
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	3,754	30,982	33,186	29,316	5,933	5,933
人件費計	80	7,020	7,020	7,020	7,020	7,020	7,020
事務・技術(人)	0.01	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（1/2）

841 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0281
 評価年度 令和 4年度
 所属 2353
 事務事業番号 00224

進捗区分 評価完了
 消防局予防課
 自主防災組織等育成事業

所属長名 駒村 保
 記入者 田中 大

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021	災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002	地域防災力の向上				
事務事業	004	自主防災組織等育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	災害対策基本法、消防組織法、大津市災害等対策基本条例					
事業概要	(事業概要) 大規模災害における事前の備えと被害の軽減を目指して、学区自主防災会・地域（自治会）自主防災組織・女性防火クラブ連合会等の防災に関連する団体の育成に係る補助を行い、組織の活性化並びに災害対応能力を強化させることにより、地域の防災力の向上を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 大雨や台風等による自然災害が増加しており、市民の公助に期待する度合いは大きくなる一方、自助・共助の防災意識の醸成が課題である。 (見直しや改善等の経過) 補助事業を効果的に活用いただけるよう、地域の要望等を踏まえ、申請対象者や補助対象となる資器材の見直しを行った。また、コロナ禍における訓練環境等の整備を行った。 令和3年度より、防災関係団体等の連携を図ることなどを目的に地域防災力充実強化事業を推進している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	学区及び自治会の自主防災組織並びに女性防火クラブ連合会に対し					
目的(何のために)	地震や土砂災害等の大規模災害時に被害の軽減を行うとともに、市民の命を守り、安心な生活を確保するため					
手段(どのようなやり方で)	防火・防災資器材等をはじめとした、補助金の交付及び各種訓練指導を行い					
成果(どのような状態にするのか)	公助に頼ることなく、自分の身は自分で守り（自助）、自分たちのまちは自分たちで守る（共助）という考えから自主防災活動を通じて、災害発生時の被害軽減を図る。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	71,889	57,634	56,437	58,437	58,437	58,437	58,437
事業費	6,589	6,274	5,077	7,077	7,077	7,077	7,077
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,862	0	1,400	2,000	2,000	2,000	2,000
一般財源	727	6,274	3,677	5,077	5,077	5,077	5,077
人件費計	65,300	51,360	51,360	51,360	51,360	51,360	51,360
事務・技術(人)	7.80	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.50	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

842 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0281
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2353 消防局予防課
 事務事業番号 00224 自主防災組織等育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-03-00	自主防災組織等育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 学区自主防災組織活動補助金利用数	組織	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00
		29.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 地域における防災関係者会議数	回	8.00	8.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		13.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 学区自主防災組織訓練実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		83.30	61.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 訓練 1 件あたりに占める防災士の活動人数	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
		1.75	1.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域における防災力向上のため、本市の財政支援は妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	補助事業等が自主防災組織体制の活性化と充実強化に有効である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	補助事業で効率的に資機材を整備することが可能		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	補助事業やフォローアップ研修等で自主防災組織の充実強化に貢献		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	学区及び地域の自主防災組織等への財政的支援により、防災意識を高め、地域での自主的な防災活動を充実させるとともに、自助・共助による地域防災力を強化することで、災害による被害を最小限にとどめる防災体制を構築する。また、地域における防災関係団体等の連携体制構築を図るとともに効果的で持続可能な訓練の支援に取組み地域防災力の向上を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	自主防災組織への財政支援については、これまでどおり継続して実施するとともに、市民主体の効果的な訓練が実施されるよう支援し、地域防災力充実強化事業により災害に強いまちづくりを推進すること。		

事務事業評価シート（1/2）

844 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0282
 評価年度 令和 4年度
 所属 2353
 事務事業番号 02372

進捗区分 評価完了
 消防局予防課
 火災予防業務事業

所属長名 駒村 保
 記入者 木下 龍起

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心・快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心・安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	005	火災予防業務事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	消防法、火災予防条例、火災予防査察規程、火災予防違反処理規程、火災調査規程				
事業概要	(事業概要) 防火対象物や危険物施設に対して防火・防災対策について適正な指導を行い、建物利用者の安全確保及び危険物施設に関連する事故防止の徹底を図る。また、火災の出火原因や傾向を分析し、効果的な広報を展開するとともに実効性の高い訓練指導を行い、住宅火災等の防止に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市内の防火対象物は年々増加傾向にある。定期点検が必要となる危険物施設の半数近くは設置から30年以上経過している。火災件数は減少傾向であるものの住宅火災については減少していない。また、コロナ禍の影響により、事業所等への立入検査や訓練指導、防火指導などの実施において制限されることがある。 (見直しや改善等の経過) 消防法令違反に対しては、適正に違反処理（行政指導、行政処分）を行い早期是正を促進するとともに、コロナ禍の状況等に鑑み自主防火・防災管理体制の強化を推進している。また、住宅火災における出火原因の傾向と対策を分析し住宅からの出火防止対策への取組みを進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	防火対象物、危険物施設等の事業所及び住宅（市民）を対象として
目的(何のために)	防火対象物や危険物施設の火災及び事故の発生危険の排除及び、住宅火災減少のために
手段(どのようなやり方で)	防火対象物及び危険物施設への立入検査を年間業務計画に基づき適正に行うとともに、住宅火災の出火原因や傾向を分析し効果的な広報や実効性のある訓練指導を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	防火対象物及び危険物施設に対して消防法令違反を是正し、防火・防災対策の向上を図るとともに、類似火災や住宅火災の発生を防止することで安心・安全に暮らすことのできるまちづくりの実現を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	203,035	236,105	236,543	237,525	237,525	237,525	237,525
事業費	1,815	1,445	1,883	2,865	2,865	2,865	2,865
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,815	1,445	1,883	2,865	2,865	2,865	2,865
人件費計	201,220	234,660	234,660	234,660	234,660	234,660	234,660
事務・技術(人)	24.50	29.50	29.50	29.50	29.50	29.50	29.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.90	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート (2/2)

845 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0282
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2353 消防局予防課
 事務事業番号 02372 火災予防業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-05-00	火災予防業務費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)防火対象物等の立入検査数	回	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00
		2,597.00	2,775.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)施設及び設備等を活用した専門性の高い火災原因調査件数	件	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		23.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)立入検査の指摘事項に対する是正数	件	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
		3,124.00	3,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)製品火災の原因判定率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		100.00	97.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	出火防止、安全対策の指導にかかる事業主体、手段は妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	安心・安全に暮らすことのできるまちづくりに寄与している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	社会情勢を見極めて適正かつ効率的な実施方法に努めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	予防体制の充実に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	防火対象物及び危険物施設に係る防火・防災の安全性を向上させるため、消防法令違反に対する是正指導が行える組織体制の確立に努める。また、自主防火・防災管理体制の強化を図り、事業所等における持続可能な出火防止及び事故防止対策を推進する。火災の原因調査については、高度な分析機器等を有効に活用して鑑識及び燃焼実験を行い出火原因の究明率向上を図る。また、その調査結果を活用して積極的・効果的な広報活動を実施し類似火災の発生防止を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	防火対象物等に対して、引き続き適正・適切な指導等を行い、施設利用者等の安全確保を推進すること。また、効果的な火災予防啓発を展開するとともに住宅火災防止対策の徹底を図り、安心・安全に暮らすことのできるまちづくりを推進すること。		

事務事業評価シート（1/2）

847 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0283
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 00278 消防車両等整備事業

所属長名 小田 浩文
 記入者 中邑 康高

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	008	消防車両等整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	消防組織法	消防法	消防力の整備指針
事業概要	(事業概要) 複雑多様化する各種災害が予測される中、これらの災害に迅速かつ的確に対応する能力を維持するため、消防車両、救急車両、消防用機械器具等の更新、並びに修繕・整備が不可欠となる。このことから消防車両等整備計画に基づき、年次計画的に車両及び車両に積載する消防用機械器具の更新、はしご車等の定期的なオーバーホールを実施する。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 刻々と変化する社会環境から、災害は複雑多様化し、大規模災害の増加や、テロ災害の危険性が高まっている。また、救急業務の増加、高度化に伴い市民のニーズは増大している。 (見直しや改善等の経過) 災害の様態を考慮した車両設計や更新計画、オーバーホールによるメンテナンスを行うことで、効率的な維持管理に努めている。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防・救急車両及び積載消防用機械器具等を
目的(何のために)	複雑多様化する各種災害に迅速かつ的確に対応するために
手段(どのようなやり方で)	年次計画に基づき更新及び大規模な修繕整備を行い
成果(どのような状態にするのか)	災害現場において、迅速・確実に、かつ最大限にその能力を発揮させ、災害による被害の軽減を目指す。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	283,926	87,842	266,126	286,493	87,138	160,033	119,225
事業費	279,926	83,942	262,226	282,593	83,238	156,133	115,325
国庫支出金	64,909	14,155	28,356	6,145	13,538	12,656	14,809
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	183,310	61,486	207,900	217,800	43,400	118,300	87,100
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	31,707	8,301	25,970	58,648	26,300	25,177	13,416
人件費計	4,000	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0283
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 00278 消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-26-00-01-00	消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 消防・救急車両更新台数 (消防車、救急車)	台	4.00	4.00	6.00	4.00	3.00	5.00	3.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 消防・救急車両更新計画に基づく更新実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	消防組織法により、消防業務の責任は市町村が追う		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	車両トラブルのリスクが回避され、結果コスト削減に繋がる		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	更新計画に基づき、災害様態を考慮した車両、資器材の設計		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	大規模化、複雑多様化する各種災害に対し、対応の充実が図れる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	車両については、車両更新計画に基づき効率的に更新する。車両更新の際には、車両、資器材が的確なコストであるかを見極めて仕様書を作成する。また、災害対応能力を維持できるようメンテナンスを継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	災害対応力を維持するには、車両等の更新整備事業は極めて重要である。引き続き車両更新計画に基づき整備を進めること。また、地域の特性を踏まえ、効率的、効果的な車両運用に努め、災害対応に支障のないよう、メンテナンス整備を徹底すること。		

事務事業評価シート（1/2）

850 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0284
 評価年度 令和 4年度
 所属 2354
 事務事業番号 00279

進捗区分 評価完了
 消防局警防課
 消防水利施設整備事業

所属長名 小田 浩文
 記入者 近澤 昌二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	006	消防水利施設整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	消防組織法	消防法	消防水利の基準
事業概要	(事業概要) 火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また、大規模地震災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため、消火栓及び耐震性貯水槽等消防水利施設の整備を行う。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 耐震性貯水槽は、木造住宅密集地域への設置が必要であるが、設置可能な用地確保が困難な状況である。 また、既存の水利施設には老朽化が進み、維持管理及び更新、廃止が必要なものも出てきている。 (見直しや改善等の経過) これまで学区ごとにバランスを考慮して設置してきたが、糸魚川市で発生した大規模木造住宅密集地火災の教訓から、木造住宅密集地域に設置する長期計画とした。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消火栓及び、耐震性貯水槽等の消防水利施設を
目的(何のために)	火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また、大規模地震や大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため
手段(どのようなやり方で)	消火栓については水道配管の新設や維持管理に併せて設置、修繕を行い、耐震性貯水槽については特に木造住宅密集地を捉えて整備し
成果(どのような状態にするのか)	火災発生時における被害の軽減を図る

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	56,106	65,621	38,400	44,076	44,400	57,900	44,400
事業費	52,106	61,721	34,500	40,176	40,500	54,000	40,500
国庫支出金	2,677	2,653	0	0	0	2,743	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	9,078	8,514	0	0	0	9,300	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	40,351	50,554	34,500	40,176	40,500	41,957	40,500
人件費計	4,000	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

851 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0284
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 00279 消防水利施設整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-15-66-00-01-00	消防水利施設整備費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 耐震性貯水槽の整備数（目標値隔年1個）	基	1.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 耐震性貯水槽設置数	基	77.00	78.00	0.00	79.00	0.00	80.00	0.00
		77.00	78.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	火災発生時の水利確保のため整備を推進することは妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	消火栓と耐震性貯水槽の整備により消防水利の充実が図れている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	特に木造住宅密集地を捉えて計画的に効率的に整備できている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	火災発生時の消火体制が確保でき市民の安心安全に繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	木造住宅密集地域の消防水利未整備区域において、設置可能な適地を調査し計画的に耐震性貯水槽の整備を行っていくとともに、水道配管の新設や維持管理に併せて消火栓の設置、修繕を行い、消防水利の充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	耐震性貯水槽の整備については、木造住宅密集地域の中でも可能な限り危険度の高い適地を選定し、設置計画に基づき推進すること。		

事務事業評価シート（1/2）

853 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0285
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 00282 特殊災害活動体制整備事業

所属長名 小田 浩文
 記入者 下田 明夫

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心・快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心・安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	010	特殊災害活動体制整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	消防法	消防組織法	消防力の整備指針
事業概要	(事業概要) 頻発する大規模自然災害をはじめ、山岳救助事故、水難救助事故などの特殊災害に的確に対応できる人材を育成するため、訓練環境等の整備を行い、災害対応体制を強化するもの。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 生活様式や余暇活動の多様化等により、山岳、水難救助事故が増加することに加え、全国各地で豪雨災害等の自然災害も頻発しており、この分野に的確に対応できる隊員の育成が求められている。 (見直しや改善等の経過) 事案の多様化に伴い、活動環境も多様化している中、最小限の経費で最大限の効果を上げるべく、当務OJTや外部OJT、現地訓練など訓練環境の整備を行ってきた。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	救助隊員をはじめ、消防局職員に対し
目的(何のために)	頻発する大規模自然災害や水難・山岳救助事案などの災害による活動体制の整備と、災害による被害を軽減するために
手段(どのようなやり方で)	年間訓練計画に基づき、実践的な訓練を実施することによって
成果(どのような状態にするのか)	これらの災害に安全・的確・迅速に対応できる人材を育成し、市民の安心・安全な暮らしを確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	172,928	152,524	152,730	153,167	152,978	153,167	152,978
事業費	928	1,204	1,410	1,847	1,658	1,847	1,658
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	928	1,204	1,410	1,847	1,658	1,847	1,658
人件費計	172,000	151,320	151,320	151,320	151,320	151,320	151,320
事務・技術(人)	21.50	19.40	19.40	19.40	19.40	19.40	19.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

854 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0285
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 00282 特殊災害活動体制整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-01-00	特殊災害活動体制整備事業費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 救助隊定期訓練回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		11.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 水難救助訓練回数	回	9.00	11.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		9.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 救助隊定期訓練実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		91.00	91.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 水難救助訓練実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	危険と隣り合わせとなる特殊環境での活動		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	継続的な訓練により安全かつ有益な活動に繋がっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	北消防署救助隊発足のため、定期訓練ではなく山岳訓練とし実施		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	消防行政サービスに貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	頻発する大規模自然災害をはじめ、山岳事故、水難事故に即応するためには万全の備えが極めて重要であり、安全な活動を実施するためにも、次世代を見据えた隊員育成が必要。そのためにも訓練実施機会の充実を図っていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	近年頻発する大規模自然災害をはじめ、山岳事故、水難事故に即応するためには、人材育成及び次世代を見据えた観点から、計画的に隊員の育成を行う必要があるため、効果的な教育研修や訓練を実施していくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

856 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0286
評価年度 令和 4年度
所属 2354
事務事業番号 00284

進捗区分 評価完了
消防局警防課
消防救急救助業務事業

所属長名 小田 浩文
記入者 近澤 昌二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	011	消防救急救助業務事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法	消防法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>火災をはじめ、各種災害に迅速かつ確に対応するため、各部隊の災害対応訓練を実施することにより部隊活動体制の強化を図り、市民の生命、身体及び財産を各種災害から保護する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>近年、火災はもとより地震、洪水、土砂災害などの自然災害が頻発している。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>特別消火隊員を南消防署に配備し、災害における人命救助と被害軽減を図るため、消火隊の教育訓練を実施している。また、山岳救助、水難救助事業への強化を図るため、令和4年度10月には北消防署に特別救助隊を配備した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各種災害に対応するための消防・救急・救助資機材等の装備充実を図り、各部隊を
目的(何のために)	複雑多様化する災害に迅速・的確に対応し被害を最小限に止めるために
手段(どのようなやり方で)	年次計画的に整備し強化することにより
成果(どのような状態にするのか)	災害発生時の被害軽減を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,081,335	1,060,919	1,060,702	1,061,553	1,061,686	1,061,686	1,061,686
事業費	12,055	3,479	3,262	4,113	4,246	4,246	4,246
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	12,055	3,479	3,262	4,113	4,246	4,246	4,246
人件費計	1,069,280	1,057,440	1,057,440	1,057,440	1,057,440	1,057,440	1,057,440
事務・技術(人)	132.50	132.50	132.50	132.50	132.50	132.50	132.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.60	4.20	4.20	4.20	4.20	4.20	4.20
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

857 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0286
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 00284 消防救急救助業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-04-00	消防救助業務費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 4 署 2 分署での年間訓練実施回数 (目標 1 回/1 日)	回	2,190.00	2,190.00	2,190.00	2,190.00	2,190.00	2,190.00	2,190.00
		3,384.00	2,728.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 4 署 2 分署での年間訓練実施率 (基準 1 回/1 日)	%	10.80	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		11.90	124.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	火災をはじめ、各種災害に対応できるよう資器材整備の充実を図るとともに、各隊（指揮隊、消火隊、救助隊、救急隊）の連携強化を推進し、災害対応能力の向上と被害の軽減に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	火災をはじめとする各種災害に対応するため、資器材整備の充実を図り、各隊の連携を図るための訓練を強化し、災害対応能力の向上と被害の軽減に努めること。		

事務事業評価シート（1/2）

859 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0287
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 00287 救急高度化推進事業

所属長名 小田 浩文
 記入者 北村 勝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	002	救急救命体制の充実				
事務事業	001	救急高度化推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法	消防法	救急救命士法			

事業概要
 (事業概要)
 救急業務に対する市民ニーズが多様化するなか、指示医療機関である3病院と連携して平成28年度から派遣型救急ワークステーション（以下「WS」という。）を本格運用し、救急救命士を含む救急隊員の応急処置等について医学的な質の保証を図るなど、救急業務の高度化を推進している。また、新規救急救命士の養成及び救急救命士が高度な処置を行うための研修への派遣、並びにメディカルコントロール体制の充実強化を図っている。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
 (事業を取りまく社会環境)
 超高齢社会にあつて、救急業務に対する市民ニーズが多様化・複雑化し、救急出動及び傷病者搬送件数が増加傾向にある。
 (見直しや改善等の経過)
 指導救急救命士による救急救命士の教育体制を強化するとともに、WSにより救急救命士や救急隊員の研修体制を改善させている。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	①救急隊員を ②救急救命士を
目的(何のために)	傷病者の救命率・社会復帰率を向上させるため 傷病者の後遺症の軽減、容態の悪化防止のため
手段(どのようなやり方で)	①WSへ派遣又は救急救命士養成所へ派遣し、新規救急救命士を養成することにより ②WSへ派遣又は薬剤投与や気管挿管等の高度な処置を行うための追加研修に派遣することにより
成果(どのような状態にするのか)	早期に質の高い救命処置を行える体制が築け、傷病者の後遺症軽減と容態悪化を防ぐとともに、心肺停止傷病者の救命率を向上させる。加えて、119番通報時の口頭指導体制の強化と事後検証体制の強化を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	402,810	394,198	394,301	394,625	394,584	394,584	394,584
事業費	9,210	10,438	10,541	10,865	10,824	10,824	10,824
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,210	10,438	10,541	10,865	10,824	10,824	10,824
人件費計	393,600	383,760	383,760	383,760	383,760	383,760	383,760
事務・技術(人)	49.20	49.20	49.20	49.20	49.20	49.20	49.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

860 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0287
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 00287 救急高度化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-36-00-01-00	救急高度化推進事業費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 救急救命士数	人	74.00	83.00	87.00	89.00	89.00	88.00	88.00
		74.00	82.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 気管挿管、アドレナリン投与等が実施できる救急救命士数	人	61.00	64.00	68.00	73.00	78.00	81.00	84.00
		58.00	64.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 救命率（心原性かつ目撃があった症例の1か月生存率）	%	13.70	16.70	16.70	16.70	16.70	16.70	16.70
		26.20	12.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 高度救命処置実施数	件	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
		689.00	800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	救急業務を行う消防機関が質の担保等を行うのは妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	救命率は昨年以下で例年並み。救命体制の高度化は継続している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	研修派遣は計画的に進行、実習はWSで効果的に実施できている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高度救命処置ができる救命士が増加し体制の充実が進んでいる。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後、定年退職等により現場で活動する救急救命士の人員が減少するため、新規救急救命士の計画的な養成と高度な救命処置が実施できる救急救命士を継続して養成する必要がある。また、派遣型救急ワークステーション等を通じて、病態判断と処置技術がより向上できるよう教育していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	増加する救急需要に対応し救命率を向上するためには、新規救急救命士の養成をはじめ、高度な救命処置（気管挿管、薬剤投与等）が実施できる認定救急救命士の養成は不可欠であるため、先を見据えた計画的な養成を図ること。また、複雑、多様化する救急事案に対応するため、生涯教育を通じて質の向上を図るとともに、救急救命士を含む全救急隊員の教育体制を充実強化させること。		

事務事業評価シート（1/2）

862 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0288
 評価年度 令和 4年度
 所属 2354
 事務事業番号 02066

進捗区分 評価完了
 所属長名 小田 浩文
 記入者 北村 勝

消防局警防課
 救急業務事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	002	救急救命体制の充実				
事務事業	002	救急業務事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	消防組織法	消防法				

事業概要	(事業概要) 多様化する市民ニーズに的確に対応するため、救急活動資器材の整備をはじめ、市民による応急手当の実施率の向上を目的に、救命講習をはじめとする応急手当の普及啓発を推進する。
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 救急件数が増加傾向にあり、救急資器材や医療用酸素等の消耗品需要が急増している。さらに、医療用資器材価格が大幅に上昇している。 (見直しや改善等の経過) 適切な救命処置の実施や市民応急処置の普及を図るため、資器材品目の見直し等による調達合理化を進めている。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	① 救急資器材等の装備及び消耗品を ② 小学校高学年から成人まで市民を対象としたAEDの使用方法を含む応急手当講習を
目的(何のために)	① 超高齢社会の進展による救急要請の増加に対応するため ② 心肺停止傷病者の救命率の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	① 年次的に整備・充実させることにより ② 積極的に学校や市民団体等へ普及し
成果(どのような状態にするのか)	① 市民から信頼される救急活動を実施する。 ② 受講者数を増加させる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	201,153	190,188	189,916	190,408	190,898	190,898	190,469
事業費	7,553	9,228	8,956	9,448	9,938	9,938	9,509
国庫支出金	0	5,650	678	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,695	2,938	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
一般財源	4,858	640	5,678	6,848	7,338	7,338	6,909
人件費計	193,600	180,960	180,960	180,960	180,960	180,960	180,960
事務・技術(人)	24.20	23.20	23.20	23.20	23.20	23.20	23.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

863 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0288
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 02066 救急業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-07-00	救急業務費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) A E Dの使用 方法を含む講習受講者数 (場所指定募集)	人	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00
(成果) 市民による電気 ショックの実施率	%	1,279.00	3,912.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		12.80	6.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	救急業務は法律で市町村業務となっており妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	市民の応急手当講習受講者数は着実に増加している		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	講習では人形を一人1体用意するなど、効率的に実施できている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	救急資器材の充実、受講者数の増加で貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	超高齢社会を迎え、自宅や施設等において心肺停止状態となる傷病者が増加すると考えられ、その場に居合わせた市民による応急手当が救命率を左右するため、市民による応急手当実施率を増やす必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	救命率の向上には市民による応急手当実施率を向上させる必要があるため、効率的かつ効果的な救命講習会を実施するとともに、増加する救急需要を踏まえた救急車の適正利用についてもあらゆる機会を通じて広報に努めること。		

事務事業評価シート（1/2）

865 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0289
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 02096 国際消防救助隊員育成事業

所属長名 小田 浩文
 記入者 下田 明夫

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	013	国際消防救助隊員育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	国際緊急援助隊の派遣に関する法律					
事業概要	(事業概要) 海外で大規模災害が発生した場合に、国際消防救助隊の登録消防本部として救助隊員を被災国に派遣するため、国の定める派遣体制を整えている。国際緊急援助活動に必要な教育訓練を実施するよう国の要綱に定められており、国際緊急援助活動のルールに遵守し知識及び救助技術の習得をさせる事業。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 海外でも大規模地震等が頻発し、日本の国際緊急援助隊救助チームの派遣体制の確保及び登録隊員は国際標準の救助技術や知識を備えている必要がある。 (見直しや改善等の経過) 登録隊員は原則、任期を4年単位として2年ごとに半数の隊員を更新している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	全国77消防本部599人のうち、大津市消防局が登録している国際消防救助隊員6人を対象に
目的(何のために)	日本国政府唯一の救助チームとして、海外で発生した大規模災害に派遣される国際消防救助隊登録隊員に対し、国際的に定められた標準的手法や知識・技術習得のために
手段(どのようなやり方で)	年間教育訓練計画を年度当初に定め、当該計画を実行していく。また、総務省消防庁等が主催する各種教育訓練へ登録隊員を派遣する
成果(どのような状態にするのか)	国際標準の救助技術を習得する事により、派遣時に他機関（海上保安庁、警察機関）とスムーズな連携が実施できる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	24,877	23,800	23,808	23,936	23,936	23,868	23,868
事業費	477	400	408	536	536	468	468
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	477	400	408	536	536	468	468
人件費計	24,400	23,400	23,400	23,400	23,400	23,400	23,400
事務・技術(人)	3.05	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0289
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 02096 国際消防救助隊員育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-03-00	国際消防救助隊員育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 年間教育訓練	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		10.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 教育訓練実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		83.00	120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	国際消防救助隊登録隊員は、国際標準の救助技術や知識、技術等を率先して習得し、当市の災害対応活動はもとより、円滑な出勤態勢確保のため本部職員を含めた組織的な訓練を継続して実施していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大規模災害時における捜索救助活動技術は日々変化しており、いつ派遣要請があっても即応できるよう、継続して知識、技術等の錬磨に努めること。		

事務事業評価シート（1/2）

868 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0290
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 02634 大規模災害活動対応事業

所属長名 小田 浩文
 記入者 下田 明夫

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心・快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	009	安心・安全に暮らすことのできるまちにします		
施策	023	消防・救急体制の充実		
取組の方向性	001	消防力の充実		
事務事業	012	大規模災害活動対応事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	消防組織法	消防法		
事業概要	(事業概要) 近年の災害は複雑・多様化し、地震災害、土砂・風水害などの自然災害も広域化するとともに、テロを含むNBC災害や予測困難な感染症等にも安全・的確に対応する必要がある。これら災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、かつ隊員の安全確保と負担軽減のため、消防活動資機材全般の更新整備を図るもの。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年の災害は複雑化、多様化、大規模化していることから、災害対応に対する市民ニーズが高まっている。 (見直しや改善等の経過) 消防活動全般の資機材について、中長期計画および災害ニーズに応じた更新整備を図る。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	災害活動時に使用する活動資機材や保安資機材などを
目的(何のために)	複雑、多様化する各種災害における被害を軽減し、市民の生命、身体及び財産を保護するため
手段(どのようなやり方で)	中長期計画を基にした更新整備を進める一方で、災害ニーズに即応できるよう、消防・救急・救助の枠にとらわれることなく、災害現場活動に必要な資機材整備費を集約することで
成果(どのような状態にするのか)	安全、確実、迅速な救出救護活動と、活動隊員の二次災害防止、負担軽減が図られ、市民の安心、安全な暮らしを確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	168,821	146,837	145,126	156,853	156,830	152,955	152,499
事業費	29,921	15,857	14,146	25,873	25,850	21,975	21,519
国庫支出金	9,667	1,747	0	1,980	6,830	0	2,000
県支出金	0	67	0	72	0	72	0
地方債	20,253	0	0	10,200	1,000	0	0
その他	0	67	0	72	0	72	0
一般財源	1	13,976	14,146	13,549	18,020	21,831	19,519
人件費計	138,900	130,980	130,980	130,980	130,980	130,980	130,980
事務・技術(人)	17.00	16.50	16.50	16.50	16.50	16.50	16.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

869 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0290
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2354 消防局警防課
 事務事業番号 02634 大規模災害活動対応事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-04-00	大規模災害活動対応事業費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)消防用活動資機 材更新件数（リース契 約、備品契約数）	件	9.00	12.00	9.00	8.00	8.00	8.00	8.00
(成果)消防用活動資機 材更新率	%	12.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		133.00	91.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	消防組織法により、市町は消防責任を負うことになっている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	適切な更新整備により安全かつ迅速な活動に繋がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	的確な活動と隊員の安全確保に繋がっている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	大規模災害への備えは市民の安心安全に繋がる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	消防活動全般の資機材について、年次計画により災害ニーズに応じた活動資機材の更新と整備を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	近年頻発する自然災害をはじめとする大規模災害に即応できるよう、年次計画的に災害ニーズに応じた活動資機材の更新整備を図ること。		

事務事業評価シート（1/2）

871 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0291
 評価年度 令和 4年度
 所属 2355
 事務事業番号 00274

進捗区分 評価完了
 消防局通信指令課
 通信指令業務事業

所属長名 弓坂 則行
 記入者 佐山 佳克

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	002	通信指令業務事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法、消防法					
事業概要	(事業概要) 高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等各種機器の機能を最大限に活用し、迅速、的確に出勤指令を行うことを任務とし、被害の軽減及び救命率の向上を図るもの。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 災害が大規模かつ複雑多様化し、救急需要が増加傾向にある中で、緊急事態への即応体制や情報通信機器等の有効活用、適正管理など、高度で迅速・確実な通信指令業務の推進が必要である。 (見直しや改善等の経過) 119番通報時から出勤指令に要する時間短縮を目指し、通報受信訓練等を実施し職員の指令管制対応能力の向上を図ると共に、市民に対し消防局HP等を活用して、119番通報要領についての広報を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民からの119番緊急通報に対し
目的(何のために)	災害による被害の軽減と救命率を向上させるため
手段(どのようなやり方で)	高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の活用を図り
成果(どのような状態にするのか)	迅速、的確な指令管制業務による情報収集等から、被害の軽減と救命率を向上させる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	137,940	188,971	189,414	195,439	194,257	193,940	195,341
事業費	40,140	97,471	97,914	103,939	102,757	102,440	103,841
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	40,140	97,471	97,914	103,939	102,757	102,440	103,841
人件費計	97,800	91,500	91,500	91,500	91,500	91,500	91,500
事務・技術(人)	11.50	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

872 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0291
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2355 消防局通信指令課
 事務事業番号 00274 通信指令業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-01-00	通信指令業務費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)火災への出動指令数（災害真報）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		84.00	93.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)救急への出動指令数（災害真報）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		16,880.00	19,997.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)火災事案入電から出動指令までの時間（119番通報）	秒	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		138.40	140.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)救急事案入電から出動指令までの時間（119番通報）	秒	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		70.60	79.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法令に基づく消防業務を円滑に遂行するために必要な事業である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	被害の軽減及び救命率の向上に繋がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	高機能消防指令システム等の機能を最大限に活用でき効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	消防隊や救急隊等への確実な情報伝達に繋がっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	消防通信指令業務は、災害対応に当たる第一段階となる「119番通報」を受信するため、市民と消防行政を繋ぐ重要な役割を担っている。従って、担当職員は常に高機能消防指令システムを適正に維持管理し、その性能を最大限に活用するため、システムの取扱い技術や通報者から迅速的確に情報収集を行えるよう能力の向上を図り、指令管制業務に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	消防指令センターの根幹となる高機能消防指令システムの効果的な運用と維持管理を行い、通信指令業務を適正に実施すること。また、各種システム等の活用を図り、迅速的確な情報収集と消防隊への円滑な消防活動支援を行い、質の高い消防指令管制業務を目指し、市民の被害軽減と救命率の向上に努めること。		

事務事業評価シート（1/2）

874 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0292
 評価年度 令和 4年度
 所属 2355
 事務事業番号 01921

進捗区分 評価完了
 消防局通信指令課
 通信機器等整備事業

所属長名 弓坂 則行
 記入者 佐山 佳克

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心・快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心・安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	003	通信機器等整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法、消防法					
事業概要	(事業概要) あらゆる災害から市民の安心・安全を確保するため、高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の適正な維持管理を行うことにより、円滑で効率的な情報管理体制の確立を図るとともに、情報通信技術の進展に即した通信機器を整備し被害の軽減に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年の災害は、大規模かつ複雑多様化するとともに、救急需要は年々増加する中で、災害対応や情報収集等を迅速・的確に行うために、情報通信機器等の整備に努める必要がある。 (見直しや改善等の経過) 高機能消防指令システムの機能を最大限に活用すべく、職員の操作研修を進めて安定稼働を図り、市民等の被害の軽減及び救命率の向上に努める。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	指令管制業務に係る各システム及び情報通信技術の進展に即した通信機器を
目的(何のために)	災害発生時における的確な情報収集及び指揮命令系統の伝達機能を確保するため
手段(どのようなやり方で)	年次計画的に整備し
成果(どのような状態にするのか)	消防隊等への支援情報の提供による効率的な部隊運用により被害の軽減を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	69,086	71,622	68,268	88,431	548,796	151,611	57,229
事業費	25,086	24,822	21,468	41,631	501,996	104,811	10,429
国庫支出金	0	0	0	0	500	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	1,800	471,700	63,200	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	25,086	24,822	21,468	39,831	29,796	41,611	10,429
人件費計	44,000	46,800	46,800	46,800	46,800	46,800	46,800
事務・技術(人)	5.50	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

875 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0292
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 2355 消防局通信指令課
 事務事業番号 01921 通信機器等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-04-00	通信機器等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)災害への出動指令件数（災害真報）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		17,909.00	19,729.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入電から出動指令までの時間（全災害種別119番通報）	秒	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		70.90	79.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法令に基づく消防業務を遂行するために必要な事業である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	災害時の的確な情報収集と効率的な情報共有に繋がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	情報収集と情報共有により被害の軽減に効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	情報通信機器の整備は、効率的な消防活動を行う上で役割は大きい		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	消防指令管制業務の基幹システムである高機能消防指令システムの機能を最大限に活用し、職員の操作習熟を図り、周辺機器を含め機器の適正な維持管理を行う。また今後のDXの導入推進に対応するとともに、国等の動きを見極めつつ、消防救急デジタル無線や高機能消防指令システムの整備計画について調査研究を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高機能消防指令システムや各種情報通信機器等の適正な運用を図るとともに、消防救急デジタル無線の更新整備、高機能消防指令システムの維持管理など、実効性のある計画を策定すること。また国等が進めるDXの進展を注視し、次期高機能消防指令システムの更新整備に向け、調査研究及び検討を行うこと。		

